



127

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2012 7/1

事務局:〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
 新能研修センター:〒357-0063 埼玉県新城市新能325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155
 婦志研修センター:〒377-1611 群馬県吾妻郡嬬恋村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1662

2面・3面 賛助会員の方からのお便り／賛助会のご案内／巡回公演日より ほか
 4面 お客様からのお言葉／東日本大震災復興祈念合同公演実施 ほか

http://www.suginoko.org/

E-mail: support@suginoko.org

新興閣掌中劇団



東日本大震災復興「夢と希望と笑顔の輪を！」祈念合同公演を終えて

理事長 小澤 幸雄

東日本大震災から一年が過ぎた去る5月、被災地・被災者・被災避難者を主な対象として表記合同公演を実施した。「すぎのこ」が主催で、宮城県東松島市で自身も津波の被害に遭われた「NPO法人創る村」と、震災直後いち早く

く式百億円もの義援金を送った台湾政府の最先機関「台北駐日経貿文化代表處」との共催で、オートレースの収益金から優れた公益事業に対して補助金を出している「財団法人JKA」の補助金と、「株式会社小学館」から

の協賛を頂き、全会場「無料」での合同公演が実現した。
 出演は、東京を除いた被災地四会場では「創る村」から鈴屋善太君の「生きるつていいよ(阪神淡路大震災被災地神戸からの応援歌)」・舟山李生子さんの「勇気をだそう(すぎのこの環境教育劇みどりの星の主題歌)」・舟山鈴太郎君の「創る村オリジナル曲」と佐々木淳英君のキーボード伴奏。
 「すぎのこ」からは、東京会場のみ崎崎馬君と岡部千絵さんによる「どろぼうのなみだ」。その他被災地四会場は下村明君と安井里佳子さんの「かもとりごんべえ」。
 台湾からは台北傳統藝術藝師(人間文化財)「鍾任壁師」とその劇団新興閣掌中劇団が、「皿廻・壺廻・侍・変臉(一瞬にして顔の隈取りが変わる)・西遊記(火焰洞)」の中から会場及び観客条件によって選び公演した。
 今年80歳になる鍾任壁師は二百年近く続く人形劇家系に生まれた五代目、今回は三男の六代目と七代目予定のお孫さんとの来日公演となった。
 初日は五月四日(金)東京都豊島区「コア・いけぶくろ」／池袋いけいけ人形劇まつり25周年・豊島区制施行80周年・そして鍾任壁師の「傘寿(80歳)」を祝う記念公演となった。人形劇まつりに参加した人形劇人のための特別公演も持つて

頂き、公演後の親睦会は人形劇人同士の盛り上がりを見せた。豊島地区実行委員会会長には、いけいけ人形劇まつりの実行委員長上田順一氏が兼ねて下さった。
 五月六日(日)福島県相馬市「はまなす館」／当日はつくば市に竜巻が発生した日。相馬市教育委員会の共催を頂いたが、現地は雹に雷雨に停電と、最悪な環境での公演となった。相馬市地区実行委員会会長には「和みの里」代表山本隆昭氏がついて下さり取りまとめてくれた。

五月八日(火)宮城県南三陸町「ホテル観洋」／宮城県でも最も被害が大きかった地区の高台に残ったホテルでの公演。南三陸町と同教育委員会の後援を頂いたが、被災地の交通対策・公演時間帯など細やかな配慮に欠け観客動員は反省大であった。南三陸町地区実行委員会会長にはホテル観洋の女将阿部憲子氏がついて下さり取りまとめてくれた。
 五月九日(水)宮城県東松島市「コミュニティセンター」／ここは「創る村」の本拠地。早くから準備を進め、東松島市の共催を受け、市内の保育園を動員してくれたため会場は定員以上の観客で溢れた。東松島市地区実行委員会会長には創る村の理事で、大震災の折津波で流されてきた二名を救助し、今回歌でも出演してくれた元氣一杯の鈴屋善太君

が取りまとめてくれた。
 宮城県は県の後援も頂いた。

五月十日(木)岩手県金ケ崎町「中央生涯教育センター」／震災被災地としては内陸で被害は少ない地区だが、被災避難民も対象として実施。教育委員会の後援を頂き、近くの小学生在が動員出来、被災避難者と共に会場一杯に盛り上がった。金ケ崎地区実行委員会会長は「みどりの郷」代表木村忠弘氏がついて下さり取りまとめてくれた。

今回の祈念合同公演は本当に多くの方々の善意と協力と支援によって実現出来た。おかげさまで被災者に「夢と希望と笑顔の輪を」少なからず届け得たと確信している。出演者はじめご指導ご支援ご協力下さった関係各位に心から感謝申し上げます。本当に有り難うございました。



賛助会員
からの
お便り

松本 環

私と「すぎのこ」との出会いは突然やってきた。

以前やっていた小学校公演の仕事が終わり、これからどうしようかと考えていた時のことだった。小学校公演でお世話になっていた方からの一本の電話。若い女の子で人形劇経験者を探している劇団があるけど、旅出られる？ という内容だった。

題目は「泣いた赤おに」。人形はふくさ人形の二体使い。それまで棒使い人形しか使ったことがなかったため戸惑いはあったが、人形を持ち帰り稽古してもよいということだったので挑戦してみることにした。

小学校公演とは違う舞台から客席までの距離の近さと観客人数の少なさ、一つ一つの動きや言動に対する子どもたちの声かけの多さに緊張しながらも、明日はどんな反応がくるのか楽しみにしている自分がいた。

あれから15年を経た今、私は賛助会員として、あの頃と変わらずすぎのこの公演活動に関わっている、「すぎのこ」が、これからも人形と一緒に、全国の子ども達に夢と笑顔を届ける旅を続けていって欲しいと願っている。



遊びなみだ

「遊びなみだ」班

檜崎 数馬

すぎのこ人形劇「どろぼうのなみだ」は、影絵と人形芝居のコラボレーションを試みた作品です。

明暗も鮮やかな影絵を背景にして人形たちが動き回り、また時にはそれまで舞台上で演技をしていた人形が影絵のなかに入り込んだりしながらお話が進んでいきます。豊富な刺激と情報を連続して送り届けてくるテレビのアニメーション番組や、華やかな色彩で展開される絵本などとは一味違った、

光と影のコントラストで展開される影絵芝居。見慣れた部屋を暗くするところと立ち現れる、いつもと異なる世界。

与えられる情報が少ない分、また、だからこそ見る側の集中力を高め想像力をかきたてる影絵は、外側からの刺激をたくさん吸収し、自分の内側で整理して組み立てることを学習する未就学期の子ど



賛助会員募集！

すぎのこは今「税額控除認定法人」(認定法人への寄付金の一部は納税額から控除されます)を目指し、賛助会員募集中です。すぎのこの活動を側面から支援するだけで何の見返りも無い賛助会ですが、入会された方には会員証の外に、アンパンマンでおなじみのやなせたかし先生がデザインした、すぎのこ「すくすく」のバッジ(写真)をお贈りしています！

公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会 定款施行細則「賛助会規程」

- 賛助会に關し「賛助会規程」を以下に定める。
- 賛助会に關する基本事項に關しては、定款第45条によるものとする。
- 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
- 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額	3,000円 以上
団体	年額	10,000円 以上
- 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
- 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要な事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならぬ。
- 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
- 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
- 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
- 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
- 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
- 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に關して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
- 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名することができる。
- 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
- 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
- この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。



すくすくレモン(入会3年未満)



すくすくルビー(入会5年以上)



すくすくオレンジ(入会5年未満)

「たのきゅうの
うわばみだいじ」班

太田 令

今年も去年に引き続き、「たのきゅうのうわばみだいじ」の作品を上演することになりました。2年連続で同じ作品を担当するのは、今年が初めてです。去年の経験を生かして、メンバーを引っ張って行きたいと思っています。

もたちの情操教育にかかった手法の一つなのではないでしょうか。実際に「どろぼうのなみだ」の上演中、舞台で人形が演技をしているにも関わらず、背景として用いている影絵の一部がさりげなく変化したのを見逃さなかった子どもから、「影が動いたよ!」という声が上がることもあり、改めて影絵がもつ魅力、惹きつける力を感じさせられました。

さらに、すぎのこでは影絵紙芝居の作り方の講習会も行っており、自分が作りたい、と思ったオリジナルの影絵紙芝居を時間とお金をかけず比較的容易に作成することができ、ということも魅力の一つでしょうか。

影絵紙芝居の作り方講習会の詳細については、ぜひ一度お気軽にお問い合せください。

「わらしべ長者」の脚本にこめた想い

(坂口 文)



わらしべ長者のお話の面白さは、何の価値もないようなわらくず一本が、みかんや反物、馬…と次々に素敵なものに化けていくことにあります。見てくれる子ども達にも、次は何か？ とわくわくしながら劇を楽しんでもらえたら本当に嬉しく思います。ただ、その奥にはどんなに困難な状況におかれても、人が幸せに生きていくためにはどうすればいいのか、その手掛かりに少しでもなるようなお話にしたい、という想いを込めてこの脚本を書かせて頂きました。

わらしべ長者の主人公・正吉は、食べる物にも困っているほどの貧乏で、一緒に暮らしている家族もいません。一見、不幸のどん底のように思えますが、正吉は決してへこたれることなく、毎日を明るく生きています。その強さの秘訣は、日常のささやかなことに喜びを見い出せる感性と、他人の役に立てることに喜びを感じられる優しさ、そして一人であっても、孤独だとは思っていないことにあります。何故、孤独ではないのか？ それは、正吉の心の中には、いつも亡くなった両親をはじめ、数えきれないご先祖様が生き続けているからなのです。

正吉は、ご先祖様の導きにより、長者へのサクセスストーリーを歩んでいきます。はじめは、正吉の優しさによって開けていった道でしたが、馬を手に入れた正吉は、馬と共に幸せになる方法を模索し、ある勝負に打って出ます。その秘策とは…。

さあ、どうぞ正吉と一緒に夢を叶える旅にお出かけください。



「ねずみの嫁入り」

班

野見山 大輔

この仕事における最大の魅力は「ナマの舞台を届ける」ことだと思います。中でもこの芝居はナマ

しかし、たとえ同じ作品でも、メンバーが変わればだいぶ作品の雰囲気も変わってきます。リズム・キャラクターともども、新しい経験を積み重ねていきます。今年も初めて尽くしの面白く、貴重な1年となるよう努力して行きたいと思っています。

の舞台の醍醐味が味わえる、魅力的な作品のひとつです。

人形劇俳優としてのスキルの向上はもちろん大事ですが、観に来ている子ども達に喜んでもらえることが何より重要であり、演者の喜びでもあります。演者の息づかいが観客を息づかせ、観客が息づくことで演者もさらに息づく。そんな演者と観客がお互いの体温を共有できる舞台を目指しています。子どもの圧倒的なパワーを前に研鑽の毎日ですが、こちらも体1つで勝負するつもりで、技を磨いて行きたいと思っています。

「とべとべとべ」

班

榎本 均

空想力、それが「とべ、とべとべ」の人形劇の魅力でしょう。

空をとぶ、時には高みを望みそして、高みから自分という存在を確かめたいという思いも空想力というのかもしれない。ふとつちよでちいちゃな羽で飛べない鳥「ドードー」、とつづくこの世から消えた「ドードー」とは「おバカさん」と人がつけた名前。でも、すぐくカッコいい、ビューティフルネーム。鳥だったら、飛べるよね。魚だったら、泳げるよね。それなら、人間だったら、話せるよね。考えられるよね。でも、できないこともある。生きてゆくなかで、できないことはたくさんある。できないことを無理矢理、追い求めて、いつか困って苦しむのは人間たちなんだよ、とドードー（おバカさん）は言う。



この春、入園したのか、まだおっぱいの匂いが残っている幼な子が、ヨチヨチ人形劇場会場にやって来る。どこかドードーの歩きに似ている。部屋が暗くなるだけで泣きじゃくる。飛ぶ準備をしている時？ 巣立ちの時？ さあ、大きな空へ思いっきりとべ！ 大きな翼になったドードーのように、それは空想でなく夢と希望のふたつの翼で。

台湾「新興閣掌中劇団」、NPO法人「創る村」との合同公演を終えて

前号でお伝えしておりましたが、5月6日～10日の5日間、台湾から招聘した「新興閣掌中劇団」との合同公演で、東北地方を巡回公演して来ました。

5月5日、2台の車に分乗し、最初の上演地、福島県相馬市にむけて出発しました。

6日当日は、朝から舞台の準備をして、午後の開演を待っている。突然、雷がゴロゴロと鳴り始め、電まじりの激しい雨が降ってきました。まもなく、一段と大き

な落雷があつて会場が停電になってしまい、上演ができなくなるかも…という最悪の事態に。

しかし、なんとか上演したいという我々の祈りが通じたのか、開演30分前に復旧し、無事、開演することができました。

初日から悪天候にみまわれましたが、その後は、5月8日宮城県南三陸町、9日宮城県東松島市、10日岩手県金ケ崎町と順調に公演し、子どもたちの大声援を受け、無事に全公演を終えることができました。

ました。

共催者でもあり、勇気の出る歌を聴かせてくださった宮城県東松島市の「NPO法人創る村」・台北駐日経済文化代表處をはじめ財団法人JKA・株式会社小学館、そして、宮城県をはじめ、各自治体や教育委員会の共催や後援を頂くなど、各地区の実行委員会の皆様にも大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(創造部 下村あきら)

ウニマ(UNIMA) 国際人形劇連盟 成都大会に参加して

今年はオリンピック年、オリンピック年と云えば我々人形劇人はすぐにウニマ世界大会を連想する。ウニマは人形劇人の世界組織である。

4年に1度総会を開き、新執行委員の選任と次期開催地を決定する。その際開催地では世界各国から人形劇人を募り人形劇祭典を併催するのが恒例となっている。

今年は5月28日～6月3日迄の1週間、三国志は蜀の国、中国成都市で開催された。中国に



絶賛を博した影絵

は人形劇に関わる友人が多く、32年前のワシントン大会以来一度も参加していなかった事もあり、世界の人形劇界の動向を知る意味でも今回は参加する事にした。

現地では中国の友人韓国の友人等と旧交を温める事が出来、日本では中々会えない日本の友人達とも会う事が出来た。ウニマ大会とはそうしたところである。

今回参加して感じた事は、大型人形劇の背景はCGが主流になって来ている事でした。CGを動くセット(大道具)として使っている。制作費はどちらと



八仙過海 (中国上海)



親指姫 (スロバキア)

も云えないが、移動に簡単、演出家のイメージをリアルに再現できる…等々メリットは多いと思うが、観客のイメージはリアルであればあるほどそこから膨らまなくなってしまうのではないかと、との疑念が残った。それとは対照的に、とても小さな一体の人形が踊る影絵舞台に釘付けになった。やはり技能と感性が調和した舞台ほど、人を魅了するものはない。

(小澤幸雄)

お客様からの声

◆ねずみの嫁入り

○緑丘保育所様より

(埼玉県上尾市)

子どもたちが目を輝かせて見入っていました。歌や踊りもあつて見やすかったです。

0歳児の子どもも音響や人形の動き、演じている方の動きをよく見て楽しんでいました。

◆たのきゅうのうわばみだいじ

○吉田保育園様より

(新潟県 十日町市)

今回は、コミュニケーションセンタールのホールを借りて、3園合同行事として観劇しました。

声がよく響き、ステージがどこからともよく見え、やはり会場も大切だと改めて感じました。近年は、合同行事で他劇団の作品を見る機会がありますが、やはり「すぎのこ」さんの作品は皆さんにお勧めできます。

◆どろぼうのなみだ

○池田カトリック幼稚園様より

(北海道中川郡池田町)

昨年は違う劇団さんを観劇しましたが、その時点で「すぎのこ」さんがよかったと感じました。今年度は予算が組めず、あきらめていましたが、相談にの

つてくださり感謝をしております。ありがとうございました。

子どもたちも口々に「おもしろかったね」と言つて、笑顔いっぱいでした。

◆とべ！ドードー

○武岡ハイランド保育園様より

(鹿児島県鹿児島市)

毎回、楽しみにしています。在園児や卒園児、地域の子どもたちも集まり、いつもにぎやかです。目の前で演じる迫力、生の感動は、他のものにはないのだと感じます。

今回のテーマは、子どもたちの心のどこかに響いていることと思います。背景等もすばらしく職員も勉強になります。ありがとうございました。

○日の里東保育園様より

(福岡県宗像市)

子どもたちは楽しそうに観ながら、物語に引き込まれていました。内容も今の自然環境に関

すること、子どもたちに伝えたいものでした。でも、実際に伝えるのは難しいので、話を聞くことができて本当によかったと思います。ありがとうございました。

研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会（現財団法人JKA）の補助により建設された「すぎのこ山荘」と、日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦孺研修センター」並びに埼玉県に日本宝くじ協会の助成により建設された「すぎのこ飯能研修センター」があります。

いずれの施設も緑豊かな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地しています。

音楽や演劇等の芸術文化活動はもちろん、どなたでも時間を気にせず、自由にのびのびとお使いいただける施設です。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討下さい。（利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません）

婦孺村にある「婦孺研修センター」近くには、海拔1200m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣には日帰り温泉施設「湖畔の湯」やバラキ高原婦孺スキー場等が点在し、一年を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはテントサイト（シャワー・トイレ

完備の専用洗面棟併設）やパーベキューが楽しめる集会棟、アスレチック等も整備され、多目的に活用できる施設となっております。

埼玉県飯能市にある「すぎのこ飯能研修センター」は、都心から電車で約一時間程度の場所にありながら、閑静で落ち着いた環境に恵まれ、135㎡の多目的フロアの他、研修室、和室、男女更衣室、シャワールーム等も完備しており、様々な研修や芸術文化活動に広くご利用いただける施設です。

また、周辺には飯能の観光スポットとして有名な「天覧山」や「飯能河原」等も徒歩圏内にありますので、利用された折には、ぜひ散策してみたいかがでしょうか。

各施設の利用可能な日や時間等、詳細につきましては、左記へお問い合わせ下さい。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。

婦孺研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/support@suginoko.org

または03(3984)2396 (事務局)

飯能研修センター

婦孺研修センター

平成24年度 東日本大震災復興「夢と希望と笑顔の輪を！」

祈念合同公演実施

財団法人JKAのオートレース振興資金の補助及び株式会社小学館の御協賛を受け、平成24年度東日本大震災復興「夢と希望と笑顔の輪を！」祈念合同公演補助事業として5月4日の東京豊島区の「いけいけ人形劇まつり」での公演を皮切りに、福島・宮城・岩手の被災各地を含め計5回の公演が実施されました。

この事業は、台湾人形劇界の最高峰である鍾任壁師率いる「新興閣掌中劇団」を招聘し、東

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または042(971)4121 (下村)

劇団研究生を募集しています

すぎのこでは、子ども達にナマの舞台の感動を届ける仲間（人形劇俳優・制作者）を募集しています。全国の幼稚園・保育園や各種イベント会場・劇場などで人形劇の公演活動を通じて、たくさんの方の笑顔に出会える事がこの仕事の魅力です。巡回公演が中心ですので、人形劇俳優は長期間の出張が可能で、子ども好き旅好きの方で興味を持たれた方はぜひ、私達の活動にご参加ください。なお、未経験の方は研修・指導を行います。



京と東日本大震災に見舞われた被災地を主体とする各地で子ども達とその家族の皆様へ公演を鑑賞頂き、明日への生きる力と勇気の糧にして頂くと同時に、台湾の文化に触れ国際感覚を身につける一助として頂く事を目的として実施されました。

観劇された多くの皆様から熱い声援を受けました。

補助を賜りました財団法人JKA様、御協賛を賜りました株式会社小学館様に心より御礼申し上げます。

条件や活動内容等、詳しくは事務局迄ご連絡ください。

E-mail/support@suginoko.org

または03(3984)2396

活動記録(平成24年4月～6月)

- 4/1 財団法人JKA補助事業 東日本大震災復興「夢と希望と笑顔の輪を！」祈念合同公演内定通知書受理
- 5/4 財団法人JKA補助事業 東日本大震災復興「夢と希望と笑顔の輪を！」祈念合同公演実施 於・岩手・宮城・福島・東京(計5回公演)
- 5/7 第一期全国巡回公演開始
- 5/25 第2回定例理事会開催 於・当財団事務所
- 6/29 平成23年度事業報告及び収支決算報告を内閣府に提出